

当別町では、町内施設における木質バイオマス設備の導入や木質燃料の製造及び供給体制の構築等により地域資源の活用によるエネルギーの地域循環を推進している。

関連数値目標・KPI ※代表的なものを記載

	基準値 (H30)	実績 (R2)	目標値 (R6)	進捗率 (%)
木質バイオマス燃料生産量 (年間:t)	52	10,592	1,805	586.8
林業施業量 (年間:ha)	46.1	73.3	61.3	119.6
再エネ設備導入公共施設数(H27～累計)(施設)	6	9	12	75.0

林業の振興

・「当別町森林整備計画」及び「森林経営計画」に沿った事業を実施するため、ドローン等の先進技術を活用し、低コスト省力化の調査を進めた。

木質バイオマス使用量の拡大

・地域における木質バイオマス使用量の拡大を目指し誘致を行った民間事業者による発電所の建設が着工した。

取組事例

町内施設における木質バイオマス設備の導入

・「当別町木質バイオマス熱利用事業化計画」に基づき、西当別小学校と西当別中学校に、木質燃料(チップ)ボイラを導入した。ボイラには旧中小屋中学校で製造したチップを使用しており、エネルギーの地域循環の取り組みがスタートした。



「河川支障木」などを利用したチップ製造の調査研究

・河川支障木の利用可能性や河川支障木由来のチップ製造及びその利用に向けての課題を抽出し課題解決に向けた調査を実施。
・実際に使用するボイラについての課題や故障リスクを把握し、チップ燃焼灰の資源としての活用に向けた調査を実施。



「産業力の強化」により、
活力あるまちづくりの実現を目指す